

学校だより青南

2月号

令和6年1月31日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



美しい生活

校長 野口 直樹

まだまだ寒い時期が続きますが、2月4日には立春を迎えます。二十四節気は、太陽の高度を基準としたものであり、地球上の暑さや寒さとはあまり関係ないため、立春といっても春だとは感じにくいのですが、梅の花や早咲きの桜が咲いたり、日が伸びてきたりして季節の動きを感じることができます。

様々な学年の授業を参観する際に、掲示物を見るようにしています。掲示物の様子から子どもたちの成長を感じることができるからです。

3年生の教室の掲示物に、3学期の目標が張られていました。そこには、目標を漢字一字で表すコーナーがありました。ある子が、「美」という漢字を書いていました。そして、この漢字を選んだ理由を「この漢字を選んだのは、今年は美しい生活がしたいのと、きれいに机を整理して気持ちよく勉強したいからです。」と書いていました。私は、「美しい生活」という言葉のセンスにハッとさせられると共に、「美しい生活」とは何か考えてみたくなりました。

そこで、まず「美しい」という言葉の意味について調べてみました。すると次のようなことが記載されていました。○ 色・形・音などの調和がとれていて快く感じられるさま。人の心や態度の好ましく理想的であるさまにもいう。○ 妻子など、肉親をいとしく思うさま。また、小さなものを可憐に思うさま。かわいい。いとしい。愛すべきである。○ りっぱである。見事だ。○ きれいさっぱりとしている。【goo 国語辞書より抜粋】

「美しい生活」と記載した子どもは、人の心や態度の好ましく理想的であるさまを頭に描き書いたのだろうと私は考えました。

では、この「美しい生活」を実践していくために必要なことは何だろうと考えてみました。まず、思い浮かんだのが「美しい言葉」でした。私が考える「美しい言葉」は、美辞・麗句ではありません。丁寧な言葉とも少し違います。それは、相手に敬意を払ったものの言い方だと考えます。自分にとって周囲の人間が、大切な存在であるという事に気づき、相手に敬意を払うことで、心無い言葉や暴言を言うてしまうことは無くなっていきます。

私たち大人にも、一緒に暮らしている人たちは、自身がより成長していくために、仕事を充実させていくための大切なパートナーだと考えることで、様々なことが上手く回ったり、仲間の良さに目を向けようとしたりして関係性がさらに高まったという経験があると思います。敬意の糸で繋がった集団には、「ありがとう」や「大丈夫」が、さらっと出てきます。

2月は、ふれあい月間です。自分も友達も大切な存在と思い、青南小学校に美しい言葉があふれ、子どもたち皆が美しい生活を実践していけるように言葉かけ、指導をするとともに私たち自身が美しい生活を行っていけるよう心掛けます。

【理科教育地区公開講座のお知らせ】 ～くらしに広げくらしに生かす理科学習～

理科部

2月17日(土)の学校公開は、理科教育地区公開講座として、東京都小学生科学展で都知事賞を受賞した6年生の研究発表、自由研究の仕方についてアドバイス、生活科・理科の授業、専門家を招いての講演会などを公開いたします。生活科や理科の学びを暮らしに広げ、すことで、子どもたちに未来の科学の担い手としての自覚を育てたいと思います。当日の授業では、持ち帰って家庭で発展させることのできる内容を計画しています。学校での理科学習をご家庭で話題にいただけたらと思います。



【寒さに負けず元気に生活しよう】

生活指導部

2月4日(日)は立春です。暦の上では春が始まる日ですね。体力は1日にしてならずと言えるように、日々の積み重ねによって保たれています。そこには心の健康も大いに関わっています。気持ちが落ち込んだり、ストレスを感じたりしていると免疫力が低下して体調を崩してしまうことがあります。信頼できる人に相談する、趣味を見つける、たくさん寝る…など、自分に合ったリフレッシュ方法を見つけてください。

【運動委員会】

運動委員会では、学校の運動に関する仕事を担っています。普段の活動としては、ボールの空気入れや竹馬・一輪車の整理を行います。委員会の時間には、体育倉庫や体育用具の整理整頓を行います。他にも、運動に関するイベントを計画し実施しています。今年度行った活動は、健康力アップウィークの取組として行った障害物走です。誰もが楽しめるようにすることを考え計画しました。

これからも、青南小学校の体力の向上の一助となるよう頑張っていきます。

【体育館運動クラブ】

体育館運動クラブは、体育館でできる運動の中からやりたい運動を決めて活動しています。ドッジボールやバレーボール、鬼遊びなど様々な運動を行いますが、「苦手な人も、得意な人も、全員が楽しめること」を常に大切にしています。例えば、「ドッジボール」では、女子しか投げられない「女子ボール」を用意することで、よりみんなが楽しめるように工夫していました。また、まだ投げていない人にボールを譲る姿が多く見られました。ルールへの工夫はもちろんのこと、ルールに示されない部分での気遣いにより、全員が楽しく活動できています。

【サッカークラブ】

サッカークラブは、第2校庭で活動をしています。年度始めにサッカークラブの活動の目標を聞くと、「今よりも上手になって点を決められるようになりたい」という技術の向上に関する目標が多く挙がりました。その目標を達成するために、毎回の活動ではクラブ長を中心に話し合っチームを4つに分け、2面展開でゲームを行っています。活動後の振り返りでは、次はどのようなことを意識して取り組みればよいかを話し合い、次回の活動に生かしています。